

授業開き45分「まちがえていい教室」をつくる（5・6年・第1時）

領域・形態・時間	オリエンテーション（学級づくり） 全体→歩き回り→全体 45分
ねらい	1年間の約束をつくり、「英語で話せなくても大丈夫」と「成績はこう見る」を最初に伝えて、教科としての外国語への不安をほどく。

やり方 45分の骨格（くわしい台本は下の表）

- 1

Hello, everyone! I'm ○○.

先生が英語で自己紹介（ゆっくり・ジェスチャーつき。3文だけでいい）
- 2

I make mistakes, too.

先生が宣言する——「英語で話せなくても大丈夫」（下の台本をそのまま読む）
- 3

Nice to meet you!

あくしゅりレー。できるだけ多くの友だちと1回ずつ。言えなくても手を出せば成立する形にする
- 4

Three hints. What is it?

先生3ヒントクイズ。聞くだけで参加でき、答えは日本語でOK
- 5

I like _____. How about you?

ペアでひとこと。好きなものを1つだけ交換し、1往復できたら合格
- 6

Let's make our class rules.

評価の話をしてから、クラスの約束を3つ決めて掲示する

45分の流れ 「先生のことば」は上から読むだけで1時間が成立します

分	やること	先生のことば（英語→日本語の順で言う）
0-3	出会いのあいさつ	Hello, everyone! I'm ○○. Nice to meet you. こんにちは。○○先生です。1年間よろしく。（黒板に名前だけ書く）
3-8	先生の宣言	My English is not perfect. Mistakes are OK. 先生も英語は完璧じゃない。まちがえていい。（全文は下の台本）
8-17	あくしゅりレー	Stand up! Say: Nice to meet you. 立って、出会った友だちと握手して1回ずつ。声が出ない子は手を出すだけでOKと先に言う
17-27	先生3ヒントクイズ	Three hints. Listen. What is it? ヒント3つ、よく聞いて。これは何でしょう？（答えは日本語でOK。聞くだけで全員が参加できる）
27-34	ペアでひとこと	I like _____. How about you? 好きなものを1つだけ交換。1往復できたら合格——ここで「話せた」を全員に配る
34-41	評価の話	Let me tell you how I check your English. 成績をどう見るか、先に話します。（下の水色の枠をそのまま）
41-45	約束づくり・おわり	Let's make our class rules. See you! 約束3つを決めて掲示。あいさつでおわり

宣言の台本 3-8分。ここだけは省かない（この45分の本体です）

T My English is not perfect. I make mistakes, too.

先生も英語は完璧じゃありません。まちがえます。

T In this class, mistakes are OK. Mistakes help us.

この教室では、まちがえていい。まちがいは、みんなの役に立ちます。

T You don't have to speak fast. It's OK to speak slowly.

速く言えなくていい。ゆっくりでいい。

T If you don't know, just say: I don't know.

わからないときは「I don't know.」と言えばいい。それも立派な英語です。

評価の話（34-41分・子どもにはこの3つだけ）

①ことばを覚えて使えたか ②相手に伝わるように工夫したか ③あきらめずにやってみたか

点をつけないこと：発音のきれいさ・話す速さ・声の大きさ。ここでは評価しません、とはっきり言う。

先に見せておくこと：話すテストは単元の終わりに1回だけ。いつやるかは必ず前もって伝える。ふだんの授業をいきなり記録することはしない。

ルール

この教室の約束（子どもの言葉で3つに決め、模造紙に書いて1年間はずさない） ①まちがえた人がえらい（Mistakes are OK.） ②話す人を見て聞く（Look and listen.） ③わからないときは声に出す（Help me, please.）

☆レベルアップ！ 時間が余ったら、子どもから先生への質問タイム（日本語でよい）。「先生、英語ペラペラなの？」に正直に答えるほど、この教室は安全な場所になります。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・この1時間だけは指導書どおりにやらなくていい。教科書を1ページも開かなくていい。ねらいはクラスの空気をつくること——ここで作った空気が、残りの授業の質を決める
- ・評価の話を最初にとすると1年が楽になる。「いつ・何を・どう見るか」を先に開示しておく、パフォーマンステストの日に子どもが荒れない。保護者会でも同じ3つを話すと一貫する
- ・先生が最初にまちがえてみせるのが最大の指導。演技ではなく、本当につっかえたときに「ほら、まちがえた。だいじょうぶ」と言う。英語が苦手な先生ほどこの時間は強い（「先生も練習中」は最高のモデル）